



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 株式会社デジタルハーツ 上場取引所 東
コード番号 3620 URL <http://www.digitalhearts.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 宮澤 栄一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務経理本部長 兼 人事総務本部管掌 (氏名) 風間 啓哉 (TEL) 03(3379)2053
四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第1四半期 | 2,118 | 57.4 | 330 | 161.5 | 327 | 147.9 | 178 | 136.0 |
| 25年3月期第1四半期 | 1,345 | — | 126 | — | 132 | — | 75 | — |

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 181百万円(172.4%) 25年3月期第1四半期 66百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第1四半期 | 15.21 | 14.93 |
| 25年3月期第1四半期 | 6.51 | 6.33 |

- (注) 1. 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。また、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
2. 平成24年3月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第1四半期 | 4,892 | 2,890 | 58.9 |
| 25年3月期 | 4,861 | 2,786 | 56.7 |

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,881百万円 25年3月期 2,754百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 6.00 | — | 5.00 | — |
| 26年3月期 | — | — | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | 7.00 | — | 6.00 | 13.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

- (注) 1. 当社は、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の数値を記載しております。
2. 本日(平成25年8月2日)公表致しました「平成26年3月期中間配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」のとおり、平成26年3月期第2四半期末の配当予想を修正しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,109 | 32.3 | 1,451 | 46.0 | 1,447 | 45.3 | 852 | 47.1 | 72.64 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期1Q | 11,742,600株 | 25年3月期 | 11,617,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期1Q | 2株 | 25年3月期 | 1株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年3月期1Q | 11,721,105株 | 25年3月期1Q | 11,598,732株 |

(注) 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。また、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 四半期決算補足説明資料については、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載致します。
- 平成26年3月期の期末配当(予想)は、単独株式移転により平成25年10月1日(予定)に設立される持株会社「株式会社ハーツユニテッドグループ」が実施する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 6 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 6 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 6 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 6 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 7 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期累計期間 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期累計期間 | 9 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| 4. (参考)四半期財務諸表(個別) | 12 |
| (1) (参考)四半期貸借対照表(個別) | 12 |
| (2) (参考)四半期損益計算書(個別) | |
| 第1四半期累計期間 | 13 |
| 5. 補足情報 | 14 |
| (1) 生産、受注及び販売の状況 | 14 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和等の各種経済政策による円高の是正などを背景に、消費者マインドは緩やかに回復する兆しが見られたものの、世界経済においては新興国を中心に成長性の鈍化等が見られたことから、企業の積極的な設備投資や本格的な雇用創出までには至らず、経済環境は依然として不透明な状況で推移致しました。

このような状況のもと、当社グループの主な顧客企業であるメーカーや開発会社は、高品質かつスピーディな開発需要を背景に、発売までの限られた期間において十分に不具合を検出することが必要不可欠となっており、デバッグ工程のアウトソーシングが拡大する傾向にあります。

このため、当社グループでは、国内外で増加傾向にあるデバッグ需要及び多様化する顧客ニーズに対応したサービス展開に注力して参りました。

その具体的な取り組みとして、平成25年4月には、政府機関及び企業の重要な情報やシステムを標的としたサイバー攻撃から情報資産を守る「サイバーセキュリティサービス」を開始し、人材の育成や能力開発に努めるとともに、ネット選挙の解禁に伴って自由民主党より本サービスの受注を獲得するなど、営業活動にも積極的に取り組んで参りました。

また、サイバーセキュリティサービスの受注拡大に備えるとともに、デバッグ事業の全リレーションにおいて受注が好調に推移しているため、それらの受注に対応すべく、国内最大規模の主要拠点である笹塚Lab. (ラボ)の増床や京都Lab. (ラボ)の移転及び拡張を進めるなど、受注体制の強化及び人材確保に努めて参りました。

さらに、米国子会社であるDIGITAL Hearts USA Inc. においては、コンシューマゲーム及びソーシャルゲーム等のデバッグ需要を取り込むため新規顧客開拓に注力し、日系企業に加え海外の現地企業との取引も順調に拡大して参りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、2,118,086千円(前年同四半期比57.4%増)、営業利益は330,005千円(前年同四半期比161.5%増)、経常利益は327,826千円(前年同四半期比147.9%増)、四半期純利益は178,295千円(前年同四半期比136.0%増)となりました。

■連結業績

| | 平成25年3月期 第1四半期 | 平成26年3月期 第1四半期 | 増減率 |
|--------|-------------------|-------------------|--------|
| 売上高 | 1,345,945千円 | 2,118,086千円 | 57.4% |
| 営業利益 | 126,174千円 | 330,005千円 | 161.5% |
| 経常利益 | 132,255千円 | 327,826千円 | 147.9% |
| 四半期純利益 | 75,537千円 | 178,295千円 | 136.0% |

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しており、セグメント利益は営業利益ベースとなっております。また、前期に実施した報告セグメントの変更に伴い、セグメント業績の前年同四半期比較は、前年同四半期数値を変更後の報告セグメントに組み替えて行っております。

① デバッグ事業 売上高 1,884,197千円、セグメント利益 545,814千円

当セグメントにおいては、顧客企業が求める、不具合のない高品質な製品の開発に貢献すべく、製品の品質保持及び品質向上に必要不可欠な最終チェックであるデバッグ工程のアウトソーシングサービスを提供しております。

(i) デバッグ事業：コンシューマゲームリレーション 売上高 712,911千円

日本国内のコンシューマゲーム市場における当第1四半期連結累計期間のゲームソフトの販売市場は前年同期比73.5%(平成25年6月末時点、エンターブレイン調べ)と縮小したものの、「ニンテンドー3DS™」や「WiiU™」の普及をはじめ、年末商戦に向け「PlayStation®4」等の新型ハード及び有力タイトルの発売が予定されていることにより市場の盛り上がりが見込まれております。

このような状況のもと、当社グループの顧客企業においては、それらの新型ハードに向けたタイトル開発はもとより、次世代機への端境期であることも相俟って既存ハード向けのタイトル開発も活発化しております。このため、家庭用ゲーム向けデバッグ需要が拡大しており、当社グループでは、それらのデバッグニーズの取り込みに努め、受注体制の強化及び高品質なサービス提供に注力して参りました。

また、既存顧客との関係強化により、デバッグ業務のみならず、スケジュールやオペレーションを含む品質管理工程を総合的に管理する案件が増加したため、顧客ニーズにあわせたサービス領域の拡大に努めるとともに、前連結会計年度より注力しているオンラインゲームやアーケードゲーム等の受注活動もより一層推進して参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のデバッグ事業のうちコンシューマゲームリレーションの売上高は712,911千円(前年同四半期比26.6%増)となりました。

(ii) デバッグ事業：デジタルソリューションリレーション 売上高 620,441千円

スマートフォンやスマートタブレットの普及により活性化をみせるモバイルコンテンツ市場においては、今後も引き続きソーシャルゲームをはじめとするスマートフォンアプリ開発の世界規模での成長が見込まれております。

このような状況のもと、ソーシャルゲーム市場においては、ゲーム性を追求した表現の自由度が高いネイティブアプリ開発への移行により、開発タイトル規模の増大が進むとともに、新たなプラットフォームの確立等を背景に引き続き開発タイトル数が増加していることを受け、当社グループでは、それらのデバッグ需要の取り込みに注力して参りました。

また、大手顧客企業からのアウトソーシング比率が上昇し、取引が拡大したことにより、リピート率が高い運営型のソーシャルゲームタイトルの受注が好調に推移致しました。

さらに、システム検証案件における営業活動の強化による新規顧客の獲得や、サイバーセキュリティサービス等の新サービスの開発を通じ、事業領域の拡大に努めて参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のデバッグ事業のうちデジタルソリューションリレーションの売上高は620,441千円(前年同四半期比71.4%増)となりました。

(iii) デバッグ事業：アミューズメントリレーション 売上高 550,844千円

日本国内の遊技機業界では、パチンコ設置台数は減少傾向にあるものの、パチスロ設置台数は緩やかに増加しており、今後もこの傾向は継続するものと予想されております。

このような状況のもと、当社グループでは、シェア拡大のため、サービス品質のさらなる向上及び均

一化を目的とした積極的な人材育成に取り組むとともに、デバッグに関連するサービスの拡充を推進し、付加価値の高いサービス提供に努め、顧客企業からの信頼獲得を実現して参りました。

さらに、好況であるパチスロ市場においてパチスロ案件の受注増加を図るべく営業活動に注力し、新規顧客開拓及び既存顧客に対する新規案件の受注獲得に努めて参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のデバッグ事業のうちアミューズメントリレーションの売上高は550,844千円(前年同四半期比52.1%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のデバッグ事業の売上高は1,884,197千円(前年同四半期比46.3%増)、セグメント利益は545,814千円(前年同四半期比68.3%増)となりました。

② メディア事業 売上高 124,329千円、セグメント利益 9,618千円

当セグメントにおいては、日本最大級の総合ゲームサイト「4Gamer.net」の運営を通じ、サイト上でゲームメーカーをはじめとする顧客企業に広告サービスの提供を行うことで、顧客企業のプロモーション活動を支援しております。

当サイトでは、独自取材による付加価値の高い情報をスピーディに配信することで、メディアとしての信頼性の維持及び向上に努め媒体力の強化を図って参りました。

その具体的な取り組みとして、平成25年5月には、スマートフォン向けサイトを完全リニューアルして開設するなど、ユーザーとの接点の強化に取り組むとともに、これまで培ってきたユーザーへの発信力及び影響力を活かし、顧客企業からの長期契約案件の獲得に注力し、安定した収益の拡大に努めて参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のメディア事業の売上高は124,329千円、セグメント利益は9,618千円となりました。

③ その他 売上高 126,124千円、セグメント損失 △29,889千円

当社グループでは、多様な収益源を確保することにより安定的な事業の成長を図るべく、新しいマーケットへの参入や事業ノウハウを活用した新規事業の開発に積極的に取り組んでおります。

その他の事業では、ゲーム開発のサポートを行う「開発アウトソーシング事業」、映像加工技術全般に関するサービスを提供している「映像制作事業」、不具合情報のポータルサイトを運営する「Fuguai.com事業」、クリエイターの育成支援を行う「デジタルハーツ・クリエイターズ・ネットワーク事業」等の業務を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、その他の事業の売上高は126,124千円、セグメント損失は△29,889千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産の残高は3,678,594千円となり、前連結会計年度末における流動資産3,607,705千円に対し、70,889千円の増加(前期比2.0%増)となりました。

これは、主として受取手形及び売掛金が56,202千円増加したことによるものであります。

固定資産の残高は1,213,481千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,253,494千円に対し、40,013千円の減少(前期比3.2%減)となりました。

これは、主としてのれんが18,871千円減少したこと及び投資その他の資産が25,287千円減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債の残高は1,987,821千円となり、前連結会計年度末における流動負債2,055,021千円に対し、67,199千円の減少(前期比3.3%減)となりました。

これは、主として未払費用が52,434千円、流動負債のその他が44,438千円増加した一方で、未払法人税等が156,806千円減少したことによるものであります。

固定負債の残高は14,101千円となり、前連結会計年度末における固定負債19,209千円に対し、5,107千円の減少(前期比26.6%減)となりました。

これは、資産除去債務が3,093千円、固定負債のその他が2,014千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産の残高は2,890,152千円となり、前連結会計年度末における純資産2,786,968千円に対し、103,183千円の増加(前期比3.7%増)となりました。

これは、主として期末配当の実施に伴い利益剰余金が58,089千円減少した一方で、四半期純利益の計上により利益剰余金が178,295千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、全体として概ね計画どおりとなっております。なお、第2四半期連結会計期間以降につきましても当初の計画どおり推移するものと見込まれることから、平成25年5月10日に公表致しました通期の業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,184,673 | 2,182,248 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,273,746 | 1,329,948 |
| たな卸資産 | 8,986 | 15,770 |
| その他 | 143,562 | 152,465 |
| 貸倒引当金 | △3,262 | △1,837 |
| 流動資産合計 | 3,607,705 | 3,678,594 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 262,811 | 263,626 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 503,250 | 484,378 |
| その他 | 105,623 | 108,953 |
| 無形固定資産合計 | 608,873 | 593,332 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 381,809 | 368,373 |
| 貸倒引当金 | — | △11,850 |
| 投資その他の資産合計 | 381,809 | 356,522 |
| 固定資産合計 | 1,253,494 | 1,213,481 |
| 資産合計 | 4,861,199 | 4,892,076 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 未払費用 | 433,147 | 485,581 |
| 未払法人税等 | 284,125 | 127,319 |
| 賞与引当金 | 27,021 | 19,755 |
| その他 | 310,726 | 355,165 |
| 流動負債合計 | 2,055,021 | 1,987,821 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 3,871 | 777 |
| その他 | 15,338 | 13,324 |
| 固定負債合計 | 19,209 | 14,101 |
| 負債合計 | 2,074,230 | 2,001,923 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 274,167 | 275,254 |
| 資本剰余金 | 234,166 | 235,253 |
| 利益剰余金 | 2,227,777 | 2,347,984 |
| 自己株式 | — | △4 |
| 株主資本合計 | 2,736,111 | 2,858,488 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,272 | 2,924 |
| 為替換算調整勘定 | 15,465 | 19,989 |
| その他の包括利益累計額合計 | 18,738 | 22,914 |
| 少数株主持分 | 32,118 | 8,750 |
| 純資産合計 | 2,786,968 | 2,890,152 |
| 負債純資産合計 | 4,861,199 | 4,892,076 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 1,345,945 | 2,118,086 |
| 売上原価 | 914,496 | 1,385,473 |
| 売上総利益 | 431,449 | 732,612 |
| 販売費及び一般管理費 | 305,274 | 402,606 |
| 営業利益 | 126,174 | 330,005 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 192 |
| 受取配当金 | 287 | 191 |
| 助成金収入 | 4,149 | 340 |
| その他 | 2,339 | 1,197 |
| 営業外収益合計 | 6,790 | 1,922 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 425 | 1,462 |
| 投資有価証券売却損 | — | 763 |
| 為替差損 | 187 | 1,041 |
| その他 | 96 | 834 |
| 営業外費用合計 | 710 | 4,101 |
| 経常利益 | 132,255 | 327,826 |
| 特別利益 | | |
| 負ののれん発生益 | — | 3,294 |
| 保険解約返戻金 | 22,183 | — |
| 特別利益合計 | 22,183 | 3,294 |
| 特別損失 | | |
| 事務所移転費用 | — | 10,500 |
| 特別損失合計 | — | 10,500 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 154,438 | 320,620 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 61,728 | 123,324 |
| 法人税等調整額 | 22,408 | 19,984 |
| 法人税等合計 | 84,137 | 143,308 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 70,301 | 177,312 |
| 少数株主損失(△) | △5,235 | △983 |
| 四半期純利益 | 75,537 | 178,295 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 70,301 | 177,312 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 188 | △347 |
| 為替換算調整勘定 | △3,852 | 4,583 |
| その他の包括利益合計 | △3,664 | 4,235 |
| 四半期包括利益 | 66,636 | 181,547 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 72,058 | 182,470 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △5,421 | △923 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | デバッグ 事業 | メディア 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,285,599 | — | 1,285,599 | 60,345 | 1,345,945 | — | 1,345,945 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,882 | — | 1,882 | — | 1,882 | △1,882 | — |
| 計 | 1,287,481 | — | 1,287,481 | 60,345 | 1,347,827 | △1,882 | 1,345,945 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 324,270 | — | 324,270 | △36,694 | 287,576 | △161,401 | 126,174 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Fuguai.com事業、ゲームソフトウェア開発のアウトソーシング事業及び映像制作事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△161,401千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|------------|------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | デバッグ 事業 | メディア 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,867,632 | 124,329 | 1,991,961 | 126,124 | 2,118,086 | — | 2,118,086 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 16,564 | — | 16,564 | — | 16,564 | △16,564 | — |
| 計 | 1,884,197 | 124,329 | 2,008,526 | 126,124 | 2,134,650 | △16,564 | 2,118,086 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 545,814 | 9,618 | 555,432 | △29,889 | 525,543 | △195,537 | 330,005 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Fuguai.com事業、ゲームソフトウェア開発のアウトソーシング事業及び映像制作事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△195,537千円は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結累計期間に、Aetas株式会社の全株式を取得し同社を連結子会社としたことに伴い、報告セグメントに「メディア事業」を加えるとともに、報告セグメントに含まれない事業セグメントを「その他」と区分しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「その他」セグメントにおいて、連結子会社である株式会社G&Dの全株式を追加取得したことに伴い、負ののれん発生益を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては3,294千円であります。

4. (参考)四半期財務諸表(個別)

この四半期財務諸表(個別)は「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考)四半期連結貸借対照表(個別)

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,823,421 | 1,831,930 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,079,996 | 1,139,460 |
| たな卸資産 | 3,915 | 6,984 |
| その他 | 155,604 | 163,532 |
| 貸倒引当金 | △1,240 | △1,472 |
| 流動資産合計 | 3,061,697 | 3,140,435 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 220,328 | 221,421 |
| 無形固定資産 | 85,753 | 90,375 |
| 投資その他の資産 | | |
| 関係会社株式 | 1,129,372 | 1,148,522 |
| その他 | 415,689 | 396,734 |
| 貸倒引当金 | — | △9,435 |
| 投資損失引当金 | △136,791 | △149,791 |
| 投資その他の資産合計 | 1,408,269 | 1,386,029 |
| 固定資産合計 | 1,714,351 | 1,697,826 |
| 資産合計 | 4,776,049 | 4,838,262 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 未払費用 | 405,708 | 461,630 |
| 未払法人税等 | 240,832 | 118,739 |
| 賞与引当金 | 27,021 | 14,276 |
| その他 | 248,262 | 263,609 |
| 流動負債合計 | 1,921,825 | 1,858,255 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 3,871 | 777 |
| その他 | 2,948 | 2,157 |
| 固定負債合計 | 6,820 | 2,935 |
| 負債合計 | 1,928,645 | 1,861,191 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 274,167 | 275,254 |
| 資本剰余金 | 234,166 | 235,253 |
| 利益剰余金 | 2,335,797 | 2,463,642 |
| 自己株式 | — | △4 |
| 株主資本合計 | 2,844,131 | 2,974,146 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,272 | 2,924 |
| 評価・換算差額等合計 | 3,272 | 2,924 |
| 純資産合計 | 2,847,403 | 2,977,071 |
| 負債純資産合計 | 4,776,049 | 4,838,262 |

(2) (参考)四半期損益計算書(個別)

第1四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,288,648 | 1,840,842 |
| 売上原価 | 855,224 | 1,186,289 |
| 売上総利益 | 433,423 | 654,552 |
| 販売費及び一般管理費 | 270,834 | 319,348 |
| 営業利益 | 162,589 | 335,204 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 240 |
| 受取配当金 | 287 | 191 |
| 為替差益 | 315 | — |
| 経営指導料 | 937 | 2,310 |
| 助成金収入 | 4,149 | 340 |
| その他 | 2,237 | 574 |
| 営業外収益合計 | 7,929 | 3,656 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 47 | 1,216 |
| 投資有価証券売却損 | — | 763 |
| 為替差損 | — | 473 |
| その他 | 39 | 159 |
| 営業外費用合計 | 86 | 2,612 |
| 経常利益 | 170,432 | 336,249 |
| 特別利益 | | |
| 事業譲渡益 | 7,556 | — |
| 保険解約返戻金 | 22,183 | — |
| 特別利益合計 | 29,739 | — |
| 特別損失 | | |
| 投資損失引当金繰入額 | — | 13,000 |
| 事務所移転費用 | — | 10,500 |
| 特別損失合計 | — | 23,500 |
| 税引前四半期純利益 | 200,171 | 312,749 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 61,649 | 114,515 |
| 法人税等調整額 | 22,408 | 12,299 |
| 法人税等合計 | 84,057 | 126,815 |
| 四半期純利益 | 116,113 | 185,934 |

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

事業の特性上、該当事項はありません。

② 受注実績

当社グループのデバッグ事業及びメディア事業は、受注から役務提供までの所要日数が短く、期中の受注高と販売実績とがほぼ対応するため、記載を省略しています。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 区分 | | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) | |
|------------|-------------------|---|------------|
| | | 金額(千円) | 前年同四半期比(%) |
| デバッグ 事業 | コンシューマゲームリレーション | 699,230 | 24.3 |
| | デジタルソリューションリレーション | 617,557 | 71.1 |
| | アミューズメントリレーション | 550,844 | 52.1 |
| | 小 計 | 1,867,632 | 45.3 |
| メディア事業 | | 124,329 | — |
| その他 | | 126,124 | 109.0 |
| 合 計 | | 2,118,086 | 57.4 |

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 前第3四半期連結累計期間より、Aetas株式会社の全株式を取得し、同社を連結子会社としたことに伴い、「メディア事業」を新たに報告セグメントに加えております。
 4. 前第3四半期連結累計期間に実施した報告セグメントの変更に伴い、販売実績の前年同四半期比較は前年同四半期数値を変更後のセグメントに組み替えて行っております。
 5. 前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合については、当該割合が100分の10以上である相手先がないため記載を省略しております。